

中島古屋敷

中島古屋敷（なかじまこやしき）の築城年は定かではないが、南北朝期（1336～1392年）に移ってきた市川豊後守重光の屋敷跡とされている。市川氏の祖先は刑部三郎源義清で、甲斐国青島荘市川郷上野村に住んでいた。市川氏13代目の重光がこの地に移り住んだ。中島古屋敷の現在は後屋敷教会である。門柱に「後屋敷教会」「浄土宗西山深草派」と書かれている。後屋敷公民館の東側。遺構は無い。

[六ッ美村誌には]

「大字中島字後屋敷にあり、現今は耕地となる。凡そ300坪。南方に井戸あり、市川豊後守重光の屋敷なり。重光の祖先は甲斐の国青島の荘市川の郷上野村に住む。刑部三郎源義清という、後市川と改称、13代目重光に至り当国宝飯郡戸金村に移り、また本村に來たりて居住する。その後、22代金右衛門に至り安政年中に逃亡し、行方知らず。家断絶。」とある。

[源 義清（1075～1149）]

源 義清（みなもとの よしきよ）は、平安時代後期の武将。河内源氏の一族で甲斐源氏の祖となる源義光（新羅三郎義光）の三男（次男とも）。母は平清幹の娘（平成幹の姉または妹にあたる）。兄に佐竹氏の祖となった義業、弟に盛義、親義らがある。幼名は音光丸。通称は刑部三郎、武田冠者など。武田義清とも。子に清光（逸見清光）、師光、加賀美遠光、安田義定らがいる。

本項は以下の資料を引用している。

[六ッ美村誌]

編者 六ッ美村是調査会
発行 六ッ美村是調査会
発行日 1926（大正15）年12月1日
発行所 日新堂書店
印刷所 活版印刷所



中島古屋敷跡 20150923



中島古屋敷跡
長安寺跡
20150923

